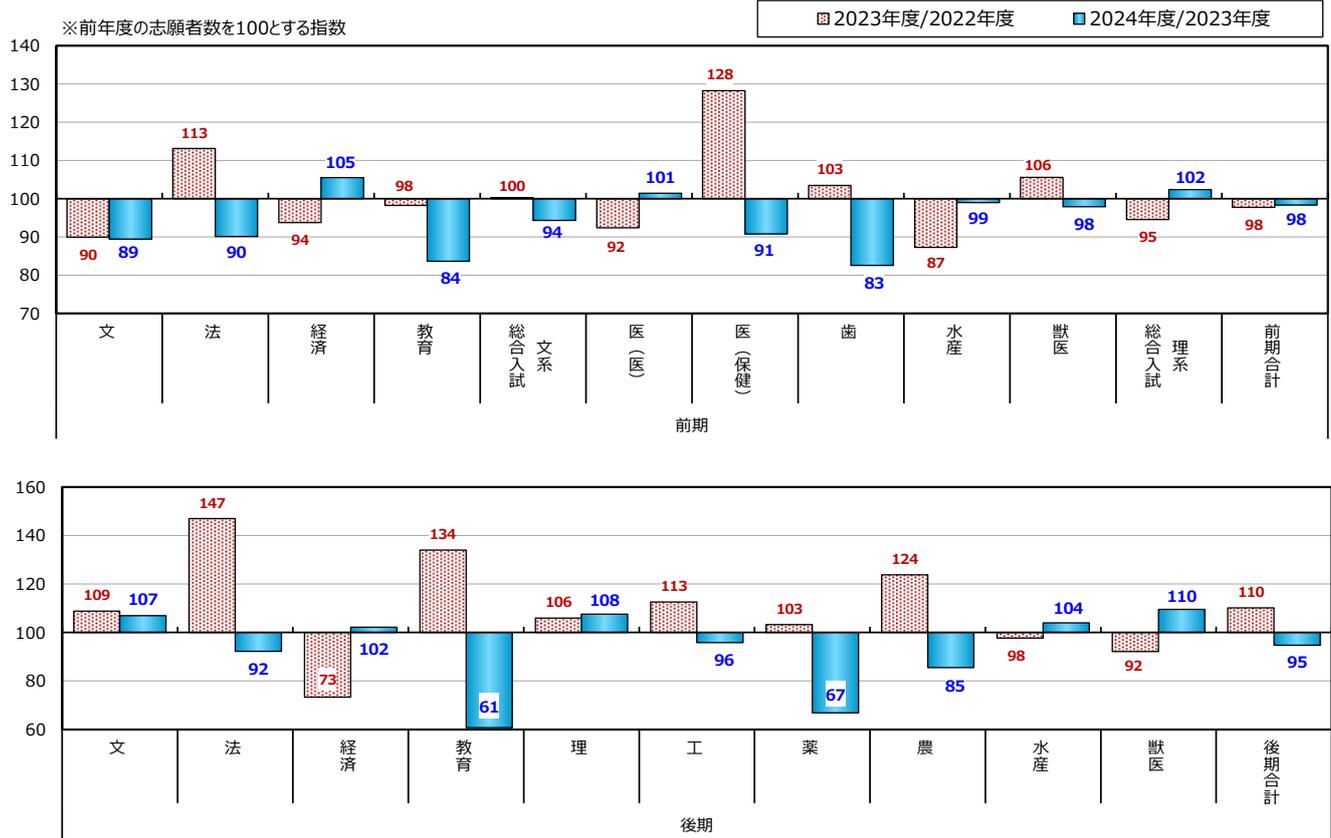


北海道大：前期は2年連続前年度並、後期はやや減少

前期：-88人 後期：-238人



主な入試変更点	募集人員：総合入試(理系/数学重点選抜群)<前>…125人→133人 総合入試(理系/物理重点選抜群)<前>…225人→239人 総合入試(理系/化学重点選抜群)<前>…226人→240人 総合入試(理系/総合科学選抜群)<前>…239人→253人
----------------	---

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は88人(98)の微減で、2年連続前年度並。文理別では、文系が82人(94)のやや減少、理系が6人(100)の微減で前年度並。特に、歯(83)、教育(84)の大幅減少が目立った。後期は前年度11年ぶりに志願者数4,500人を上回った反動は小さく、238人(95)のやや減少で3年ぶりの減少。文理別では、文系が63人(95)、理系が175人(95)のいずれもやや減少。学部別では、4年連続増加の理(108)、3年連続増加の文(107)を除くと、他の学部は前年度と逆の増減。

<前期日程>

- 文(89)は、2年連続減少。志願者数は300人を下回り、募集人員が118人となった2011年度以降で最少。
- 法(90)は、前年度増加の反動で減少。2020年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 経済(105)は、やや増加。
- 教育(84)は、大幅減少で3年連続減少、募集人員が20人となった2011年度以降で最少。志願倍率は6年ぶりに2.5倍を下回った。
- 総合入試文系(94)は、やや減少で3年ぶりの減少。
- 医(医)(101)は、3年連続減少の反動はなく、前年度並。志願者数は2年連続で300人を下回った。
- 医(保健)(91)は、2年連続増加の反動で減少。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(143)、(保健/理学療法学)(129)はいずれも大幅増加。一方で、(保健/作業療法学)(41)、(保健/検査技術科学)(74)はいずれも前年度激増の反動で大幅減少、(保健/看護学)(90)は2年連続増加の反動で減少。
- 歯(83)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
- 水産(99)は、微減だが2年連続減少。
- 獣医(98)は、微減だが3年ぶりの減少。
- 総合入試理系(102)は、微増。選抜群別では、(生物重点選抜群)を除いた選抜群はいずれも募集人員が6%増加。(総合科学選抜群)(139)は大幅増加、(物理重点選抜群)(108)は増加で、志願倍率もそれぞれ1.8倍→2.4倍、2.9倍→3.0倍にアップ。一方で、他の3選抜群はいずれも減少。特に(数学重点選抜群)(76)は大幅減少で志願倍率は3.7倍→2.6倍にダウン。

<後期日程>

- 文(107)は、やや増加で3年連続増加。志願倍率は9.0倍→9.6倍にアップし、7年ぶりに9.5倍を上回った。
- 法(92)は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 経済(102)は、前年度大幅減少の反動はなく、前年度並。
- 教育(61)は、2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率は10年ぶりに8倍を下回った。
- 理(108)は、4年連続増加。学科・分野別では、増加の3学科・分野は(生物科学/生物学)(130)、(地球惑星科学)(126)、(数)(122)といずれも大幅増加。一方で、減少の2学科は、(物理)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願倍率も32.3倍→

13.5 倍に大幅ダウン、(化)(95)はやや減少で 4 年ぶりに減少。(生物科学／高分子機能学)(100)は前年度と同数。

- 工(96)**は、2 年連続増加の反動は小さくやや減少。志願倍率は 2 年連続 9 倍を上回った。学科別では、大幅増加と大幅減少が 2 学科ずつと対照的。(知能機械工)(126)、(環境社会工)(124)は大幅増加。一方で、(応用理工系)(65)は 2 年連続大幅増加の反動で大幅減少、(情報エレクトロニクス)(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 薬(67)**は、2 年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率は 14.5 倍→9.7 倍にダウン。3 年ぶりに 10 倍を下回った。
- 農(85)**は、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- 水産(104)**は、やや増加。
- 獣医(110)**は、前年度減少の反動で増加。